

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名 : 一般国道8号 <small>にしたかおかくふく</small> 西高岡拡幅 起終点 : 自：富山県高岡市四屋 <small>たかおかしよつや</small> 至：富山県富山市立野 <small>とやましたての</small>	事業区分 : 一般国道	事業主体 : 国土交通省 北陸地方整備局 延長 : 5.96km		
事業概要 : ・慢性的な交通渋滞の緩和、幹線ネットワークの充実強化、地域開発支援を目的とした事業。				
S52年度事業化	H48年度都市計画決定 (H7年度変更)	S54年度用地着手	S55年度工事着手	
全体事業費 : 232億円		事業進捗率 : 89%	供用済延長 : 4.26km	
計画交通量 : 40,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C : <small>(事業全体)</small> 1.7 <small>(残事業)</small> 14.1	総費用 : <small>(残事業)/(事業全体)</small> 25 / 388 億円 <small>(事業費 : 17/360 億円)</small> <small>(維持管理費 : 8/28 億円)</small>	総便益 : <small>(残事業)/(事業全体)</small> 345 / 651 億円 <small>(走行時間短縮便益 : 326/623億円)</small> <small>(走行費用減少便益 : 15/24 億円)</small> <small>(交通事故減少便益 : 4/4 億円)</small>	基準年 : 平成18年
感度分析の結果 : 残事業B/Cによる感度分析を実施 交通量(±10%)12.7~15.5、事業費(±10%)13.1~15.1、事業期間(±2年)13.2~14.8、割引率(±1%)12.5~15.9				
事業の効果等 ・平成17年11月に合併した旧高岡市域と旧福岡町域の一体的地域形成に資する。 ・北陸新幹線 新高岡駅へのアクセス向上に資する(2分短縮) ・旧福岡町域から第3次医療施設(厚生連高岡病院)への所要時間が13分から11分に短縮される。				
関係する地方公共団体等の意見 ・一般国道8号整備促進期成同盟会、高岡市が整備促進を要望				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・交通量の増加 ・市町村合併				
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・~平成12年度 四屋~六家間(L=4.26km)完成供用 ・六家~内島間(L=0.8km)の工事、内島~立野間(L=0.9km)の用地買収・工事				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・老朽橋梁である中川橋の架替を優先的に実施し、その後地元の合意を得ながら事業を推進する。				
施設の構造や工法の変更等 ・なし				
対応方針 : 事業継続				
対応方針決定の理由 ・渋滞損失の削減、物流効率化等期待される効果は大きく、投資効率性も確保されている。				
事業概要図 				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。